

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和五年度五月 入賞句一覧

投句数 二千四句

高木 恵理 選

特選

ぼくを見ててんとうむしが空をとぶ

大垣市

原

奏介(小二)

てんとうむしを漢字で書くと「天道虫」。太陽に向かつて飛んでいくことから、縁起のよい虫だと言われています。また、害虫であるアブラムシを食べてくれることから、人間にとつてとても有益な虫なのです。さて、作者の前に現れた天道虫は、驚いて空へ飛び立ったのでしょうか。そうではなくきつと、あなたに幸せを運んできてくれたのでしょうか。

こいのぼりのつて行きたい空のくに

大垣市

折戸

惺奏(小二)

こいのぼりは、「鯉」。鯉は、沼や池といった清流以外の場所でも生きられる丈夫な魚です。その性質から、「逆境でも強くたくましく生き抜く人に成長してほしい」という意味が、こいのぼりに託されているのです。作者は、小学二年生。これからの人生を鯉のように切り拓き、大きく自由な空へと飛ばたいていくことでしょうか。楽しみです。

たんぽぽが町を明るくてらしてる

大垣市

岩崎

瑠奈(小六)

綿毛になつて見知らぬ土地へと根をおろしたたんぽぽ。大地にしつかりと根を張るたんぽぽ。その根の長さは、五センチから一メートルにもなるそうです。そして、どんな場所でも美しく咲いたんぽぽ。与えられた場所です。太陽のように明るい色の花を咲かせるたんぽぽ。町は、そんなたんぽぽに照らされていたのですね。素晴らしい発見だと思います。

秀逸

しやぼん玉何か伝えに飛んできた

加茂郡川辺町

瀬瀬

瑛音(中三)

母の日にそつと早起きプレゼント

大垣市

青木

紅楓(小六)

ころもがえわたしのふくは妹へ

大垣市

松尾

奏那(小四)

おにごつこひつしににげてあせだらけ

大垣市

富張

嘉恵(小二)

くさむしりバケツに三ばいとれました

大垣市

花澤

美月(小二)

ツバメたち空切るように飛んでゆく

大垣市

白石

瑚々海(小六)

春の空ぼくが守るよ小さな子

大垣市

伊藤

蒼徠(小六)

羽広げ朝日に向かうつばめの子

大垣市

服部

恵大(小六)

雪とけて新しいもの見えてきた

大垣市

藤原

瑠騎(小六)

風かおるスポーツテスト新記ろく

大垣市

代

晴睿(小六)

入選

自転車でうぐいす響く風を切る

加茂郡川辺町

小田 憩（中三）

運動場ざわつく木々と春の風

大垣市

小宅 歩結美（小六）

さくらもね未来に向かつてさいている

大垣市

寸田 海翔（小五）

かしわもち食べたらくぐいつと成長だ

大垣市

田中 彩楽（小五）

あさおきて水やりしたよきらきらと

大垣市

馬淵 可奈（小二）

はるかぜをむねいっばいにかんじるよ

大垣市

永野 瑛斗（小二）

あにとぼくならんでまなぶはるのゆう

大垣市

荒谷 桃我（小二）

いちごパフェお口いっばいいいちごあじ

大垣市

花澤 美月（小二）

しんがつきあらたななかままつてるよ

大垣市

斉木 歩夢（小三）

こどものひぶんきようやるぞがんばるか

大垣市

もりこし しゅんた（小三）

たんぽぽだあかるいきいろまぶしいな

大垣市

し水 あいる（小三）

空見上げ春満月の道歩く

大垣市

前田 瑠実（小五）

みつばちは羽音たててみつ集め

大垣市

古澤 壮真（小五）

ふじのはなへやのなかでもいいにおい

大垣市

吉川 愛桜（小五）

むらさきのぼうしゆらすよラベンダー

大垣市

高橋 凜（小六）

ゲコゲコとつゆのおとずれきこえたよ

大垣市

山田 もね（小三）

春の風せんたくたちがおんぶする

大垣市

野村 水湊（小三）

たけのこがおきよおきよとせいくらべ

大垣市

豊永 愛華（小三）

春の山息吹のにおいしんこきゆう

大垣市

山田 伊織（小六）

そろばんでようやく二級風光る

大垣市

吉川 絢真（小六）

選者吟

愛鳥週間音楽室の窓を開け

恵 理

小中学生の部

